# 川崎市民のための 生涯学習情報誌

# Stage U

ステージ・アップ 通巻 No.182 2011年10月1日 発行 (隔月発行)

ホームページからも ご覧いただけます!

3

7

情報ポケット 施設めぐり 訪ねてみたい,学び。の施設

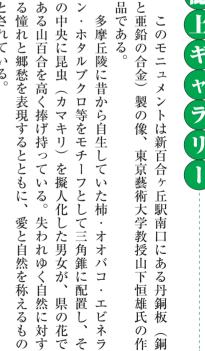
まち・ひと・多面体 シニアのパレット

もくじ









とされている。 (ふるさとの心が鼓動するまちづくり新百合ヶ丘駅周

特定土地区画整理事業のあゆみ」 昭和60年参照

モニュメント「ふるさとの詩」 木下敏美 とどろきフォトサークル



# 発行・財川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1 TEL 044 (733) 5560代/ FAX 044 (739) 0085 http://www.kpal.or.jp/ ステージ・アップ TEL 044 (733) 5811 E-メール: stage-up@kpal.or.jp

# まち・ひと・多面体



ふれあい館正面

# **ウリハッキョ** ~わたしたちの学校~

川崎駅からバスで15分ほど、バス停「四ツ角」 下車数分のところにある 「川崎市ふれあい館」。

桜本こども文化センターをかねたこの施設は、日本人と韓国・朝鮮人など在日外国人の交流・学習の場、子どもからお年寄りまでのふれあいの場として1988年に造られました。この施設の取組は「ふれあいかんだより」等で広く紹介されています。4月下旬、シニアを対象とした識字学級として長年取り組まれている「ウリハッキョ」の会を訪ねました。

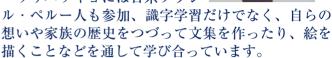
ウリハッキョとは韓国・朝鮮語で「わたしたちの学校」という意味を持っています。「特に在日一世 の方たちは小学校に通う機会すら持てず、日本で長 く暮らしていても日本語の読み書きに不自由してい

る方が多いのです。そんな方々の ための識字学級がウリハッキョで す。『わたしたちの学校』という 名称に学びへの思いが込められて いるのです」開館当初から職員と



して勤めている原千代子さんが、 そう語っていました。その言葉 に活動への思いがすべて凝縮さ れているように感じました。

ウリハッキョには日系ブラジ



この日は名もない雑草のスケッチ。指南役の鈴木 宏子さんは共同学習者という立場での参加。同じ立 場で参加している日本人や在日二世の方たちも、十 数名の受講生とともにペン画に取り組んでいました。 70歳代の受講生は「ポイントを示しながらていねい に教えてくれるのでとても楽しいです」と笑顔を見 せてくれました。「見たまま見えたままに、ゆっく り描きましょう!」と声をかけ合います。一人ひと りが大切にされる活動に心がなごみました。

■問合せ先 川崎市ふれあい館 044-276-4800 http://www.seikyu-sha.com

# 商店街の音楽隊 ~モトスミ・ブレーメンバンド~

東横線元住吉駅の西側に広がる活気あふれる商店街、モトスミ・ブレーメン通り商店街には、全国的にも珍しい商店街所属のバンド「モトスミ・ブレーメンバンド」があります。

"ブレーメンの音楽隊"がマークにもなっているこの商店街で2002年のイベントの際、青年部有志 3 人がブラスアンサンブルとして演奏したことがきっかけになり結成されました。今では、商店街のイベントの時には欠かせない存在となっています。現在のメンバーは30人ほど、高校生から50歳代までの団員がいて、ビッグバンドも編成できるようになりました。

週1回の夜、商店街の事務所で練習をしている皆さんは「練習場所の確保や外にもれる音に関しても周りの家の方々に理解していただいており、アマチュアバ



中で活動するには互いの理解が大切。「それがかなうバンドだから続けられる」とも言っていました。

ドイツーブレーメン州のロイドパサージュ商店街と 友好提携を結んで20周年を迎えた今年、メンバーが渡 独して演奏会を行いました。活動が大きく広がってい くことに充実感を感じながらも、「楽器を演奏するの が好きな仲間の集まりですから、見て聴いてくれて楽 しんでもらえることが喜びです」「商店街で演奏して いるときに、みんなの笑顔が間近で見られるのがうれ しいです」と言います。あくまでも地域の人たちとの 交流を大切にし、地域に根ざしたバンドでありたいと いう思いが伝わってきます。

取材をしてみて、商店街振興組合の方々の「音楽を通して地域の方々とのコミュニケーションをはかりたい」という思いは、ブレーメンバンドの奏でる音色と共に、きっと地域の人たちに届くであろうと確信しました。

※10月2日(日)のイベント"フライマルクト"の時に、 モトスミ・ブレーメン通り商店街で演奏します。







# 柿生郷土史料館

~大人も子どもも学び合いたい"愛する郷土"の歴史~

#### ご存知でしたか?

小田急線柿生駅近くのなだらかな坂道を歩いて数分、 右手に見える校舎が、改築して間もない川崎市立柿生 中学校です。正門の急坂を上ぼって校庭側を少し回り 込むと、武道館の手前に入口があります。校舎内を進 むと廊下の先に看板が見えます。柿生中学校特別活動 室、『柿生郷土史料館』という名称でも親しまれてい るユニークな施設がそこにあります。

#### 熱い思いの結晶

柿生中学校前校長の板倉敏郎さんの専門は歴史、 地域の方々を対象にカルチャーセミナーを開き、 その一環として川崎市市民ミュージアムの収蔵 庫を訪ねました。そこで柿生地区にゆかりのあ る貴重な遺物群に出会ったことが後の活動につ ながっていきます。歴史ある柿牛、岡上(おかがみ) の地を受け継ぐ地元の人たちの思いと、地域の 子どもたちに郷土の歴史をじかに触れる形で学 ばせたいと考えた教師たちの熱意が一つになっ て生まれた施設が柿生中学校特別活動室 = 郷土 史料館なのです。

#### ええっ?こんなものまで!

明るい展示室に入り、ガラスケースに納まっ ている陳列物を何気なく見てビックリ。初めに 目に留まった書物は何と福沢諭吉の著した明治 初期の代表的啓蒙書「学問ノス、メ」のセット。



「学問ノスヽメ」初版本

その一部は初版本でし た。

その下に陳列されて いるのは同じく福沢諭 吉著「西洋事情」。ほか に江戸末期に結ばれ、

不平等条約と言われた

『日米修好通商条約』、同様に結ばれた英・仏・露・ オランダとの条約書、発禁となった林子平の海防書『海 国兵談』や伝奇小説として有名な「南総里見八犬伝」 などもありました。

その他、早野・黒川など の近隣地域で出土した土器 や石器、柿生中学校の生徒 らが集めた鶴見川の砂鉄を



もとに行ったタタラ製鉄の 早野で出土した弥生式土器など 実験結果と鍛造された包丁など、貴重な教材も展示さ れていました。

#### どのように収集したのか?

これらの文化遺産は、近隣住民の方からの寄贈品や 柿生中学校の教材として集められたもの、板倉さん自 身が収集したもの、川崎市市民ミュージア ムの協力を得て展示しているものなどから なっています。

この地域でも世代がわりが進んでいます。古い家に 残る「文化財」が消えつつあるのです。そうした貴重 な古文書・古民具・農機具なども寄贈されましたが、 それらの整理・保存作業も史料館の大切な仕事です。

#### どんな人たちが取り組んでいるのか?

史料館は昔から地元で暮らしてきた20人の郷土 史料支援委員と、地元観光協会・観光ガイド協会 のメンバーや、自ら応募してきた人などで構成さ れているボランティアによって支えられています。 支援委員・ボランティアの人たちは、文字通り手 弁当で施設の管理・運営にあたっています。

柿生中学校現校長の山下忠徳さんが館長を、麻 生区観光協会会長であり、この史料館の立ち上げ に尽力された小島一也さんが支援委員長を務めて います。小島さんには「柿生郷土歴史年表」の著 書もあります。

#### ある日の特別企画展・ガイドセミナー

4月23日(土)、地 元に生まれ、二科 展特選の経歴を持 つ現代アート作家 佐藤英行氏が描い

た柿生・岡上・黒川地 区の風景画展とお話、

11/

講師の話に聴き入る人たち

「絵を見ながら語る吾

が故郷」のセミナーに参加しました。生憎の雨模様の 中、会場は椅子が足りなくなるほどの受講者でいっぱ い。佐藤さんの友人である女流画家渡邊恵子さんによ る、この地に残る民話数編の朗読もありました。中味 の濃い充実した催しでした。

この郷土史料館の名称となっている「郷土」という 言葉は、文字通りこの地、故郷の意味であると同時に、 川崎という地の、さらにはわが国の文化そのものの意 味を併せ持っているとも言えそうです。ぜひ一度足を 運んでみたい施設です。

- ■開館日:月4回 偶数月は毎土曜日、奇数月は毎日 曜日。10時から15時まで。
- ■連絡・問合せ
- ◇開館日等については柿生中学校:044-988-0004へ
- ◇展示内容、特別企画、情報・研究誌「柿生文化」等 に関しては 板倉敏郎さん:090-4431-9778へ



見る・聴く・ふれる・、

# 訪ねてみたい「字びの情報

# ~あなたの"関心"・あなたの"学び"のテーマにあった施設がありませんか?~



川崎市緑化センターにて

学び続けることの大切さや魅力が、多くの人に共有されるようになりました。川崎市生涯学習プラザの利用者も年々増加、市民の充実した学 習活動が広がっています。川崎市内には全国的にも貴重でユニークな施設が数多くあります。これまでも川崎市生涯学習財団の機関紙"ステージ アップ"では「施設めぐり」「まち・ひと・多面体」などのページを通して、皆さんの生涯学習の参考になると思われる施設や活動を取り上げて きました。

今回は市内の公的な施設から6館をご紹介します。これらの中に皆さんの学習のテーマ・関心に沿った施設があることを願っています。



二ケ領宿河原堰

# 歴史・文化・郷土史・・・・(地名資料室)

川崎市教育委員会文化財課の分室「地名資料室」が、高津区溝口「てくの かわさき | の4階にあります。この資料室は平成 8年4月に開設されました。

蔵書は質・量ともに優れたものが多く、約 38.000冊の貴重な資料が収蔵されています。特に 地名に関する蔵書が中心で、江戸時代の「新編武 蔵風土記稿」「新編相模国風土記稿」をはじめ、 明治から大正時代に編纂された全国各地の「郡



誌 | 「村誌 | などが収蔵されており、近世から近代にかけての日本全国の都 市・村落の状況や地名を知る重要な手がかりとなっています。

地名は各都市や村落の生活・歴史・自然環境を反映したものが多く、貴重 な文化遺産と言えましょう。川崎の郷土史研究のために当資料室を活用され る方も多くいらっしゃいます。

地名の由来・町の歴史・自分史づくり、子どもたちの自由研究や調べ学習 等に、ぜひ活用したい施設です。

◆所在地:高津区溝口1-6-10 JR武蔵溝ノ口・東急溝の口駅から徒歩3分

◆電 話:044-812-1102 ◆開 室:月・祝日を除く9時~16時半

#### 戦争から平和へ・・・・(川崎市平和館)

当館は米陸軍出版センターから返還された地、中原 平和公園の一角に、1992(平成4)年4月15日(4月15 日は"川崎大空襲の日") に開館しました。以来約20 年、平和・人権・飢餓・貧困・環境にかかわる啓発の 場、市民の平和交流の場として利用されています。



1階には屋内広場や防空壕体験コーナーがありま す。2階では川崎大空襲をはじめ、世界の戦争の歴史を物語る映像等が豊 富に紹介されています。毎年「子ども平和推進事業(毎月)」「原爆展(8 月) | 「企画展(11月) | 「川崎大空襲記録展(3~5月) | などが行われる

ほか、資料等の貸出も行っています。図書コーナーの利用もできます。戦 争と平和について深く体験的に学ぶことのできる貴重な施設です。

常設の「拉致被害者家族支援『横田めぐみさん』コーナー」にもぜひ立 ち寄ってみたいものです。 ◆所在地:中原区木月住吉町33-1東横線・JR線武蔵小杉駅 

◆電話:044-433-0171

※めぐみさんコーナーについては044-200-2316へ

◆開館:月曜日・第3火曜日を除く9時~17時

# 運動・栄養・健康づくり・・・・(かわさき健康づくりセンター)



ピラティス教室から などを運動と栄養の両面から支援しています。

南武支線・京急線八丁畷(はっちょうなわて)駅から徒歩 で8分、住宅街・工場街の一角に健康づくりセンターがあ ります。この施設は川崎市保健衛生事業団が運営する施設 です。市民の生涯にわたる健康づくりにかかわっており、 生活習慣病の予防・改善や介護予防、中高年の健康づくり

施設内には会議室のほかに体育館、トレーニングルーム、フィットネススタジ オ、栄養実習室、テニスコートなどがあり、施設の外周を巡る200mのジョギング コースもあります。人気の男性料理教室・ヘルシー料理教室など、講師の指導の

もとで参加できる各種教室はもちろんのこと、仲間で施 設を借りて楽しむこともできます。

◆所在地:川崎区渡田新町3-2-1 南武支線・京急線 八丁畷駅下車徒歩8分

◆電 話:044-333-3741

後方の煙突は

◆開館:火曜日~土曜日9時~20時半 日曜日・祝日 9時~16時



男性料理教室から

# 多摩川の歴史・自然・・・・(二ケ領せせらぎ館)

二ケ領せせらぎ館は国土交通省京浜河川事務所が管理する二ケ領宿河原堰 の一部を「多摩川エコミュージアムプラン」の運営拠点・情報発信センター として、平成11年にオープンしました。

川崎市と協働で管理運営を委託されているNPO法人多摩川エコミュージ アムは、企画展示、学校やグループへの環境学習支援など、館を中心に様々 な活動を展開しており、市民講師の派遣も行っています。

活動の1つに国交省と文科省、環境省の連携による"水辺の楽校"の取組が あります。川崎市内には「かわさき水辺の楽校」(多摩区)、「とどろき水 辺の楽校」(中原区)、「だいし水辺の楽校」(川崎区)の3校があり、水 辺をフィールドに、魚釣り、植物調査、源流体験など、子どもたちの自然体 験活動を推進しています。

別館の資料室には多摩川関連の資料があり、 閲覧・貸出をしています。

◆所在地:多摩区宿河原 1 - 5 - 1 IR・小田急 登戸駅多摩川口から徒歩10分

◆電 話:044-900-8386

◆開館:月曜日を除く10時~16時



建物の左側がせせらぎ館入口

# 自然・環境・花と緑・・・・(川崎市緑化センター)

JR南武線の宿河原駅で下車して二ケ領用水沿いを久地駅方向に5分ほど 歩くと、左手に色とりどりの花々や温室が見えてきます。

当センターは昭和11年に神奈川県農業試験場の1施設として作られまし た。その後園芸技術普及農場として川崎市に移管され、昭和54年に名称を 川崎市緑化センターと改めました。市民が緑に親しめるように多彩な事業 を展開しており、年間を通して開かれている各種講習会・展示会には、熱 心な植物愛好家が数多く訪れます。

緑化センターは橋を渡った二ケ領用水の対岸にも広がっており、豊かな 緑に囲まれた芝生広場や水車小屋もあります。

〈主な事業〉①緑の相談 ②都市緑化に係る相談 ③緑に関する講習会 ④職

場体験受け入れと実践・体験学習 ⑤古典園芸植 物の展示会 ⑥樹木、草花、種苗の収集・保存・ 展示 (7)緑化技術の展示 (8)資料・図書等の収集・ 閲覧⑨樹木、草花、種苗の配布・斡旋など。

◆所在地:多摩区宿河原6-14-1

◆電 話:044-911-2177

**横田めぐみさんのコーナー** 

◆開 園:月曜日を除く 9時~16時半



講習会での実習風景

# 環境・資源・リサイクル・・・・(橘リサイクルコミュニティーセンター)

平成5年に開設されたこの施設は、市民による「廃棄物の再利用・再生利用」 活動、市民の環境学習活動を支援するための施設です。

主な事業の1つはリサイクル家具の展示及び抽選会の実施と、古布のリフォー ムや廃材木の木工などリサイクル講座・教室の開催です。古布・古本の回収や石 鹸作り教室などがあります。リサイクル講座には講師を招いて月1回行われる教 室や職員が複数回にわたって指導する教室もあります。いずれも200~300円程度の

費用で参加できます。古着や古本などのフリーマーケットも

取材に訪れた日は、今市内で避難生活を送っている震災被 災者に家具を提供する取組で大忙しでした。

◆所在地:高津区新作1-20-3 東急線梶ヶ谷駅下車徒歩15分

◆電 話:044-857-1146 ◆休館日:毎月第4水曜日が原則

電話:044-522-3387 環境局橘処理センター ※川崎区に「リサイクルビレッジ 堤根」もあります。

今回採り上げた6施設のほかにも、歴史的公文書・戦災資料などの資料を集めた 「川崎市公文書館」(市営等々力グランド近く)や、多摩川の防災・環境・歴史などが学べ る「大師河原干潟館」(京急大師線東門前駅近く)など、魅力的な施設がたくさんありま

す。市民便利帳「かわさき生活ガイド」等をご覧ください。

#### 施設 8

#### 市内公的施設および財団が管理運営する施設のご紹介

# 教育文化会館大師分館

**☎**044-233-6361

京急大師線川崎大師駅徒歩2分

教育文化会館大師分館は川崎 図書館大師分館との複合施設、 プラザ大師として平成7年(1995 年)にオープンしました。最寄 り駅から徒歩2分という立地条 件からか、市民の方からは「利 用しやすい」と親しまれていま



プラザ大師入口

す。13階建てマンションの1・2階にあり、入口が 少し奥まっていて分かりにくいかもしれませんが、 近隣の皆さんのご利用を心からお待ちしています。

#### 〈これからのイベント情報〉

市民館分館では市民の自 主学習・文化活動・生涯学 習の場として様々な取組を しています。◇プラザ大師 まつり(11月第3週の週末)

プラザ大師まつり手作り体験広場

団体・サークルによる舞台 発表・展示・手作り体験広場・古本市・コンサート など **◇シニア向け 子育で・た育で※・孫育で** (11/29) ~) イマドキの子育てを考えます。◇その他「保育 ボランティア入門研修」「こそだて・ほっと・ぱあく」 「こそだてひろば・だいし」など。 ※ゎが孫だけでなくとい ※詳細はお尋ねください。 う思いを込めました。

# 石川記念武道館

**2**044-544-0493

JR川崎駅西口からバス溝口駅行・市民ミュージアム行武道館前下車 武蔵小杉駅から川崎駅行小向西町下車

石川記念武道館は、昭和52年(1977年)に設立され た県下初の市立武道館です。川崎の剣道の育ての親 と言われる石川八代次範士(全日本剣道連盟によっ て与えられる最高位の称号)の功績を記念して設立 されました。

#### 礼儀を学ぶ・心を学ぶ!相手を思いやる心から… そして、自分と向きあうことのできる大切な時間

武道教室や演武会を開催する など、各種武道の普及、振興 の拠点としての機能を果たし ています。



【利用について】※平日の料金 ☆ 団体・個人のいずれも可

個人(学生と未成年)100円(成人の社会人)200円 団体(午前)1,600円(午後)2,500円(夜間)3,400円

☆ 第4月曜日と年末年始以外の毎日

(午前の部)9:00~12:00(午後の部)13:00~16:30 (夜間の部)17:30~21:30



☆ 各種武道教室・幼児スポー ツ、ヨガ、ピラティス教 室もあります!

詳細は電話、ホームページ でご確認ください。

# 青少年の家

**2**044-888-3588

#### 東急田園都市線宮崎台駅下車徒歩12分

青少年の家は、団体の宿泊研修等を通じて健全な 青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設 です。

子育て中のお母さんと子どもたちの仲間作りのた めの**「よちよち歩きの子あつまれ」**、小・中学生を

対象にした「こどもエコチ ャレンジクラブ」や「放課 後おもしろクラブ」、青年 教室「川崎市青少年の家ユ ースワーカーズ倶楽部」の 他、プール開放・シニア卓 球教室等、幅広い事業に取 り組んでいます。



こどもエコチャレンジ クラブ:竹とんぼ作り 校関係・スポーツ団体・音楽や演劇団体、その他一

般の団体等の活動にも利用できます。

#### 〈宿泊利用の申込受付期間〉

青少年の家の施設は、学

○青少年団体:利用日の属する月の6ヶ月前~20日前 ○一般団体:利用日の属する月の3ヶ月前~20日前 **〈日帰り利用の申込受付期間〉**利用日の19日前~3日前 申込方法等詳細は電話、またはホームページでご確 認ください。ご利用をお待ちしています!

# 子ども

**2**044-811-2001

JR南武線津田山駅下車徒歩5分

#### ~子どもが主役の子どもたちの街 "こどもゆめ横丁" ~

子ども夢パークでは、年間を通して様々なイベン トが行われています。なかでも最大の来場者を誇る イベントが、川崎市子どもの権利の日事業として毎 年11月に行われる"こどもゆめ横丁"です。

子どもたちが自らお店を建設し、何をいくらで売 るかなど、全部自分たちで考えていきます。2週間 かけて建てたお店は、その日のうちに解体し、もと の広場に戻ります。子どもが主役の子どもたちの街、



来場者でにぎわう"こどもゆめ横丁"

活気とアイデア満 載の"こどもゆめ 横丁"に、ぜひ遊 びに来てみません か?

日時:11月6日(日) 10:30~15:00(予定) ※詳細はお問合せ ください。

#### 市内施設の各種取組と財団が主催する講座等のご案内

# 情報ポケット

#### 男女共同参画センター

**2**044-951-6321

₩ 川崎市 カジダングランプリ作品

#### (愛称:すくらむ21)

- ◇会議実践の手法を学ぶ~「決まる」会議の極意とは~
  - 日時:10/14,21,28(金) 18:30~20:30
  - ■対象:市民(女性限定) ■場所:すくらむ21
  - ■定員:20人 ■講師:彦田美香子氏
  - ■申込方法:電話·FAX又はホームページの入力フォームで

バランス月間

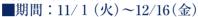
#### ◇10月はワーク・ライフ・

家事を楽しむ男性(カジダン) と育児を楽しむメンズ(イクメン) を紹介する写真コンテスト、川 柳の紹介をしています。



プロジェクト(女性に対する暴力根絶運動)を実施 しおり配布、DV被害者支援物資の募集を実施します。





- ■募集物資の詳細等は「すくらむ21 | のホームページで!
- ■所在地:川崎市高津区溝口

2 -20- 1

#### 麻生市民交流館やまゆり

**3**044-951-6321

当館は麻生区における市民活動の中核施設として 位置づけられ、区民の交流促進と活動推進を目的と し、毎月多彩な行事が実施されています。

#### 秋にかけて注目したいイベント!!

#### 【健康見本市】10月29日(土)

毎年恒例の行事。麻生区内で健康に関する活動をしている団体が一堂に会し、模範演技・パネル展示等で交流を深め、健康情報を幅広く市民に提供します。



気 功

#### 【やまゆりクラフト展】

11月12日(土)・13日(日)

工芸に関して活動している利用登録団体が、作品の展示・体験・ 即売を行い、交流を深める初め ての試みです。



血管年齢測定

- ■所在地:川崎市麻生区上麻生1-11-5
  - 小田急線新百合ヶ丘駅徒歩4分 上麻生第2公園隣
- ■開館日:月~金曜日 9:30~17:00

※予約すれば平日夜間、土日祝日も利用可能

### 川崎市生涯学習財団主催 パソコンセミナー受講生募集

講座名	開催日	申込み締切	受講料
デジカメ入門	11月4日(金)	10月21日(金)	5,000円
Word初級〔B〕	11月10日(木)·11日(金)	10月27日(木)	13,000円
Excel初級〔B〕	11月17日(木)・18日(金)	11月4日(金)	13,000円
Wordで作ろう① (年賀状文面)	11月15日(火)	11月1日(火)	5,000円
Wordで作ろう②(年賀状宛名)	11月29日(火)	11月15日(火)	5,000円

時間:10時~16時(1日5時間、昼休憩1時間あり)

定 員 :15名(定員を超えて申込みがあった場合は申込み締切後に抽選)

対 象 :年齢18歳以上の方

講 座 会 場:川崎市生涯学習プラザ3階研修室

申込み方法:電話・Fax・ハガキで。 ※ Fax・ハガキの場合は①受講希望講座名②住所

③氏名(ふりがな) ④電話番号·Fax番号⑤年齢 をご記入ください。 [申込み・問合せ先] 〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1



(財)川崎市生涯学習財団事業推進室 パソコンセミナー係

電話: 0 4 4 - 7 3 3 - 5 8 9 4 Fax: 0 4 4 - 7 3 3 - 6 6 9 7

# プラザ陶芸室 "一般開放" のお知らせ

◇木曜日・金曜日の午前(9:30-12:30)・午後(13:30-16:30) それぞれに「電動ろくろ(10名)」「手びねり(14名)」のコースがあり、形成日・削り日・釉薬日の3日間陶芸室が利用できます。受付締切日・申込み方法・開放日等、詳細は最寄りの区役所・市民館・図書館等にあるチラシ、電話でご確認ください。 (☎044-733-5893)

#### あとがき

◆多摩市民館成人学級受講者がその後10年余にわたって地図を通した学習を続けている。7月、多摩市民館で開かれていた「サークル地図の旅」の展示活動、"地図を片手に旅だより"に立ち寄った。今回はこれまでの活動の成果に加えて東日本大震災を取り上げていた。水平変動、上下変動は数センチから数メートルに及ぶ。国土地理院の綿密な調査によって明らかになりつつある◆同月、宮前市民館の「復活 みやまえ JAM2011」で宮前区在住の音楽家箕輪響氏が主宰した有志77名による吹奏楽を聴いた。冒頭「陽はまた昇る」(英国の作曲家フィリップ・スパーク)「祈り、そして誇りを胸に」(仙台の高校教師:内藤淳一)2曲は共に被災地復興の願いをもとに作曲されたもの。作曲者の願い、指揮者・演奏者の思いが1つになって胸に迫った◆国内・国外で多くの人々が復興へのエールを送っている。

# かわさき市民アカデミー フェスタ・11

毎年恒例となっている「かわさき市民アカデミー フェスタ」、今年は開催日を1日にして、 充実した内容で行います。ぜひ、ご家族・お友達とご一緒にお越しください!

#### ◇ 今年のテーマ ◇

# 今こそ!人の輪と絆をつくる学びのつどいへ!

■ 日時:2011年11月19日(土) 10時~17時

■ 内容:基調講演「日本の伝統と大震災以後の生き方」

東京大学名誉教授 竹内整一氏 (10:30~)

映画「HOME〜空から見た地球〜」の上映、親子実験

教室、経済・美術等講演会、パネルディスカッション、

油絵・切り絵作品の展示など盛りだくさんです。

■ 場所:川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町514-1 (お問合せ)044-733-5590 NPOかわさき市民アカデミー

※ 東日本大震災復興支援として、石巻市ZENKAI商店街作成の 手ぬぐいや特産の硯(すずり)などの販売もしています。

※ 今年度、フリーマーケットは行ないません。



切り絵: 枇杷(渋川岸にて)



ジャパンビバレッジは、北海道から沖縄まで全国各地に事業所をもつ自動販売機オペレーターとして、うるおいと喜びをお届けしています。